

いわて生衛だより

編集・発行
 (公財)岩手県生活衛生
 営業指導センター
 電話 019(624)6642
 FAX 019(654)2741

岩手県生活衛生営業指導
 センターホームページ



第33回 岩手県生活衛生大会を開催



令和3年11月8日、盛岡市内において、第33回岩手県生活衛生大会を開催しました。

第1部基調講演は、(株)グローバルグンテン代表 茂木久美子氏から、『コロナだからこそ学び直そう！共感力の磨き方』と題し、ご自身の山形新幹線車内販売員の体験から、自分にしかできないおもてなしや共感力による「人の5倍売る技術」をご講義いただきました。

出席された皆様方には、今後、率先してサービス利用者であるお客様の視点に立ち、共感いただける会話やコミュニケーションに取組もうと決意された方も多かったのではないのでしょうか。

第2部表彰式は、コロナ禍のため、知事をはじめ関係機関・団体へのご案内を見合わせたため、各生活衛生同業組合及び県生活衛生同業組合中央会の関係者約110名の出席による開催となりました。

今回は、知事表彰及び県生活衛生同業組合中央会会長表彰に加えて、今年度の全国表彰式が中止となりました厚生労働大臣表彰及び全国生活衛生同業組合中央会理事長表彰の各受賞者の皆様にも、湊正美中央会会長が表彰状を授与いたしました。

主な内容

第33回岩手県生活衛生大会を開催 …… 1	『生衛業経営セミナー(岩手会場)』を開催しました… 7
年頭のごあいさつ …… 2	地域活性化連携事業『モデル事業』を開催しました… 8
各種表彰受賞者 …… 3	『衛生管理セミナー』を開催しました …… 9
秋の叙勲受章者 …… 4	『経営特別相談員研修会』を開催しました…10
時の話題 …… 4	指導センターの主な事業(令和3年度) …11
組合だより …… 5～6	指導センターの応援団 ……11
すし業、中華料理、社交飲食業、食肉、理容、美容業	アルコール消毒液の取り扱い ……12
後継者育成支援事業「調理体験学習」 …… 7	



年頭のごあいさつ

(公財)岩手県生活衛生営業指導センター

理事長 鈴木 勇

明けましておめでとうございます

各生活衛生同業組合の皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より当センター事業につきまして、ご理解とご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、一昨年春から続く新型コロナウイルス感染症の拡大により、日本経済が大打撃を受けました。

生活衛生関係事業者の皆様も、その厳しい経営環境下にあいながらも、業種別ガイドライン等による感染防止対策を講じる等、各種の手段・支援を活用しながら、事業維持に鋭意取組まれてきたことと拝察いたします。

そうした厳しい状況から一転し、昨年10月以降は全国的に新規感染者数が低水準で推移し、ようやく社会経済の回復の兆しが表れてきた矢先でしたが、また新たな変異株の出現があり、生活衛生関係営業が回復するまでには、今しばらく時間を要するもの

と考えます。

今年の干支「壬寅(みずのえとら)」は、厳しい冬を越えて、芽吹き始め、新しい成長の礎を築く意味とのことです。正に、皆様がこの2年に渡りコロナ禍を耐えてきた業況が回復に転じ、更に上昇していくイメージではないでしょうか。

一方で、東日本大震災津波から11年が経過し、被災地の復興は着実に進んでおりますが、仮設で営業されている事業者もあり、未だ復興途上であることは言うまでもありません。

加えて、少子・高齢化や後継者不足等の経営課題を抱えたまま、今日に至る事業者も少なくありません。

このように生活衛生関係営業を取り巻く諸課題が山積しておりますので、岩手県生活衛生営業指導センターとしましては、各生活衛生同業組合並びに関係機関・団体等と連携を図りながら、引き続き、課題解消とともに、衛生水準の確保・向上に向けて、取組んでいく考えです。

皆様におかれましても、利用者・消費者である県民に対する、一層の安全で安心できる生衛サービス提供に努められますようお願いいたします。

結びに、皆様にとりまして、今年一年がより佳き年となりますことを祈念申し上げ、新年の挨拶とします。



年頭のごあいさつ

岩手県企画理事兼
環境生活部長

石田 知子

令和4年の年頭にあたり、謹んで御挨拶申し上げます。

生活衛生関係事業者の皆様におかれましては、日頃から本県の生活衛生行政に多大な御理解と御協力をいただき、深く感謝申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い8月に岩手緊急事態宣言が発令され、県内の新規感染者が一日に60人を超える日があるなど感染拡大が続きましたが、9月上旬には減少に転じ、9月中旬に当該宣言が解除されました。10月中旬以降は、新規感染者数「0」の日が継続するなど、感染を抑えることができました。

これはひとえに、県民の皆様の御努力のおかげであり、とりわけ、生活衛生関係事業者の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染拡大予防のための業種別ガイドラインへの対応等、徹底した感染対策を講じながら営業を継続され、県民生活を支えていただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

また、昨年6月から運用を開始した「いわて飲食店安心認証制度」についても、認証店数が、対象店

舗約9,000店の半数を超える状況であり、多くの飲食店の皆様の御理解と御協力をいただいておりますことに、重ねて感謝申し上げます。

国においては、新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針を昨年11月に改訂し、感染リスクを引き下げながら経済社会活動の継続を可能とする新たな日常生活の実現を図るとともに、コロナ克服・新時代開拓のための経済対策を取りまとめ、感染症の影響により厳しい状況にある方々の事業や生活・暮らしの支援、安全・安心を確保した社会経済活動の再開等に取り組むこととしたところです。県においても、こうした国の動きに対応し、補正予算を編成するなど必要な対策を進めてきており、今後も国と連携し、新型コロナウイルス感染症への対応について、万全を期してまいります。

生活衛生関係事業者の皆様におかれましては、引き続き、業種ごとに作成された「感染拡大予防ガイドライン」に沿った営業や、いわて飲食店安心認証店の取得などに取り組んでいただくことをお願い申し上げます。また、これまで以上に組合員相互の連携強化や創意工夫を図りながら、安全で安心な質の高いサービスを提供していただくことを御期待申し上げます。

結びに、新型コロナウイルス感染症の1日も早い終息と、業界のますますの御発展と本年が皆様にとって健康で幸多き年となりますよう心から祈念し、年頭の御挨拶とさせていただきます。

すし業組合 吉津賢次郎 理事長

旭日双光章 受章おめでとうございます

この度はからずも旭日双光章拝受の栄に浴することが出来ました。

これもひとえに組合に関係する皆様方の永年に亘るご指導ご支援の賜と深く感謝しております。

コロナ禍ということもあり皇居にての拝謁はかないままでしたが、11月22日盛岡グランドホテルにて伝達式があり、岩手県知事より勲記・勲章を拝受してまいりました。厳かな雰囲気の中で進行される式は、久しぶりに味わう人生の緊張の一瞬でした。

今後は微力ながら、岩手県すし業生活衛生同業組合並びに生活衛生業のさらなる発展に向け、努力するとともに後進の育成に努めてまいります。何卒従前にもましてご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



時の話題

大谷選手に教えられたこと

中小企業診断士 宮 健

「大谷選手を見習おう」

令和3年を振り返ってみると、最も大きな話題はコロナ禍もさることながら、岩手県民にとってはやっぱり大谷翔平選手の活躍ぶりではなかったかと思っています。もちろんコロナの影響を受けて、「それどころではなかった」と言う方もおられると思いますが、まずは大谷選手の活躍ぶり、随所で示された「人間性」に対し、感謝と敬意を表したいと思います。

私は岩手日報の「論壇」(3年8月6日)に「大谷選手を見習おう」というテーマで書きましたが、大リーグに二刀流を引っ提げて参戦して4年目にして花開いた戦績もさることながら、あの「笑顔」や「ごみ拾い」などに代表される大谷選手の人間性を「見習いたい」と率直に思ったからです。

もちろん大谷選手も「人間」ですから、テレビ放映中の画面で「これは？」と思うような場面もありました。たとえば打者として、外角低めのボール球を見送ったところ、「ストライク！」と判定

されて、「それはないよ」というような顔を審判に向けるような仕草がありました。

しかしそれは、ほんの一瞬だけのことで、すぐに平常心を取り戻して、何事もなかったかのようにダッグアウトに引き下がったのは「さすが!」です。

「目標達成シート」を参考に

「日報論壇」では、大谷選手の花巻東高校時代の「目標達成シート」のことも紹介しました。これは、花巻東高校野球部の佐々木洋監督が選手の指導用に使った「シート」ですが、大谷選手が書いたものを、パソコンを開いて見ることができます。

簡単に言うと、高校球児として「何を目標にするか」を部員各自に書かせたものです。大目標(大谷選手は「ドラ18球団」と書いている)を達成するために何をすべきかが「中目標」であり、さらに中目標を達成するための「小目標」へと続きます。

大谷選手の中目標「人間性」の項には、計画性・思いやり・感謝・礼儀・継続力などの文字が並んでいます。ごみ拾い・あいさつ・審判さんへの態度などは、中目標の「運」の中にあります。

これらは、野球選手に限ったことではなく、どのような立場の人にも相通じるものです。

私も参考にさせてもらっています。

組合だより



すしの日イベント開催

すし業

岩手県すし業生活衛生同業組合では、10月30日(土)～11月1日(月)の3日間、組合の存在アピールと平素ご利用いただいているお客様への感謝と新規のお客様の開拓を目指し、イベントを企画しました。10月25日(月)には、情報番組に出演し『三陸寿司』と『すし券』の宣伝をいたしました。

また、盛岡支部では10月31日(日)桜山神社において『もりおかまぐろまつり2021』のイベントを開催しました。最初に、お魚供養の神事を行い、引き続き、マグロの解体ショーを観客にお見せし、解体したまぐろで、鉄火丼とにぎりで、お寿司屋さんの技と味を堪能していただきました。

コロナ禍にも関わらず大勢のお客様に来ていただきました。



中華料理

令和3年度国庫補助金事業 「中華料理組合スタンプラリー事業」 料理講習会「スナックのお通し で出せる「中華三点盛」メニュー」

中華料理組合では今年度国庫補助金を活用して新型コロナウイルス感染拡大のため、消費が落ち売り上げが減少した組合員店舗の救済事業としてスタンプラリー事業を行っています。特に岩手県組合は中華料理店の他に、居酒屋、焼肉屋、スナック等幅広い事業者が加入しています。

そこで、スナックでも中華組合の加盟店として、ちょっとしたお通し「中華三点盛」の料理講習会を2回開催しました。

本当は県外から講師をお招きして講習会をしたかったのですが、コロナの影響で県外からの講師を呼ぶことが出来ませんでした。

1回目は菊池幸郎理事長が講師となり、

1品目「豚ミノと玉ねぎの中華風」

2品目「豆腐とザーサイの姜葱醬（ジャンツォンジャン）かけ」

3品目「生春巻きとサラダチキンとカニカマの水菜のスイートチリソース」

2回目は本格中華を修行してきた組合員の高橋敏彦氏が講師となり

1品目「四川風ミックスマツ辣醬和え」

2品目「サラダチキンの葱生姜ソース（白油鶏）」

3品目「台湾風豆乳スープ」

どのメニューも、手軽に作ることができ、スナックの店内でも作れるものばかりでした。参加した受講生からも材料の食材の質問や作るときのポイントなどいろいろな質問が出ていました。材料次第でアレンジも可能なものをありました。

スタンプラリーも12月から始まります。多くの消費者に参加していただきたいです。



社交飲食業

スナックを必要としている お客さんがいます

コロナ禍の中で、スナックのことを考えました。

まず、飲食と違ってテイクアウトメニューがありません。これは、ほかに売り上げをつくることのできないことを意味します。

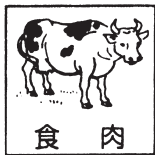
スナックといえば、ママ達との談笑ですが、現状は表情がなかなか見えないマスクをした接客で、通常時が100%であれば、コロナ禍のもとでは50%以下とも言えるようなサービスの規模を強いられています。

ましてや、岩手の県民性として、県外で緊急事態宣言が出れば、岩手の人にはほぼ街を出歩きません。公的な認証制度を受けたとしても、お客様がそのお店になかなか足を運ぶことができないような状況が続いています。

ただ、このような中でも、「元気か〜」「大丈夫か〜」と足を運んでくださる常連のお客様もいらっしゃいます。お店が大変な時に閉店が少ないのは、公的支援のおかげもありますが、やはり常連さんに助けられているというのが、気持ちの面でも大きいのではないのでしょうか。この非常事態で、お

店とお客さんの関係性で本当に大切なものがあるような気がします。

その人の暮らしの中で、スナックが憩いの場の一つであるならば、ママ達には何としても乗り越えてほしいです。笑ったり、愚痴を言ったり、歌ったり。スナックを必要としているお客様がいます。そして、スナックに行かない方も、どうかスナックに行く方を理解していただきたい。このことを切に思います。



食肉料理セミナー開催

11月下旬から12月上旬にかけて計3回、盛岡市上田公民館にて食肉料理セミナーを開催いたしました。講師には、下田クッキング教室主宰の下田真紀子先生をお迎えし、国産牛肉・豚肉をそれぞれ使った2品を調理する、毎年好評を頂いている料理セミナーです。

今回のメニューは、牛肉「野菜たっぷり牛春雨チャプチェ」、豚肉「スペアリブ」です。下田先生の食材の切り方の技術に皆さん勉強になった様子……。事務局の小職もしかり。コロナ禍により、1テーブル5名のところ、人数制限をかけ2名で行ったため、作業分担が増え大変でしたが、美味しくできました。

参加された方からは、「スペアリブを簡単に作れる方法が知れてよかった」、「国産のお肉を購入する頻度を上げたい」、「分かりやすく楽しい時間でした。ぜひまた参加したい」と今回も絶賛いただきました。

この料理セミナーを通して食肉料理のレパトリーを増やし、国産肉を食べる機会が増えていただけたら嬉しいです。



北上支部：支部全体ブロック会議開催！

11月29日(月)北上市さくらホールにて、支部全体ブロック会議が開催され、上半期決算報告や今後の事業推進を協議。その後、各店のIT状況調

べとSマーク再登録者への案内等を行った。

次に岩手県中部保健所：環境衛生課の平田由紀氏による衛生消毒講習会が行われ、感染症の種類や媒介経路、それに対する予防や対策などについて、また新型オミクロン株の感染がアフリカ南部から欧州に拡大していることもあり、改めて消毒や換気の重要性を確認できた講習会となった。

次に、今年度の補助金事業：女性客集客収益力向上アカデミー「グラデーションカットスタイルと白髪染めリタッチコース」と題して、湊理事長出席のもと、県講師の渡部順子氏による技術講習会を開催。いつものニューヘア講習とは違い、翌日から即営業に役立つ技術を教えて頂き、ちょっとしたスキ鉢の入れ方や襟足の処理など、目から鱗の技術講習に。

その後、ブランニュー北上に移動して食事会。しかしコロナ過という事もあり黙食後にマスク着用で会話。北上支部名物の「歌って踊っての懇親会！」が早く開催できる事を願う1日であった。



コロナ禍2年の上半期

本年度より理事長を務めている佐々木靖です。

今年も活動が制限される中、ガイドラインチェックシートの巡回指導やワクチン接種への対応が上半期の主な活動となりました。具体的に申しますと、今年は当組合の改選期と重なり、他団体に3カ月ほど遅れて巡回指導がスタート。計画では9月に終わる予定でした。巡回指導そのものは特に問題もなく進みましたが、8月20日に6歳未満のワクチン接種予約が開始された辺りからでした。予約が集中したため接種予約の取れない加盟店が続出し、焦りの声が届くようになりました。6歳未満の経営者の店はスタッフお客様共に6歳未満が多くなります。当然感染リスクは大きくなります。

しかし個人予約が基本のワクチン接種に組合が絡める余地はそう多くはありません。「職域接種」と「団体予約」の2つだけです。しかも「職域接種」に関してはハードルが高すぎて断念。しかも6月ですでに申請中止になっていましたので、残されたのは「団体予約」のみ。何度かトライするも結果は惨敗でした。今の状況を予見出来たら他にやり様はあったかもしれません。どこか悔しさが残る上半期でしたが、今は下半期に繰り下がった活動予定に注力するばかりです。

後継者育成支援事業「調理体験学習」

11月30日、大船渡市立末崎中学校において、飲食業組合大船渡支部（千葉武継支部長）13名が講師となり、調理体験学習を実施しました。

メニューは、生徒自ら収穫・加工していた「末中わかめ」入りのナムルと、中芯を使ったチヂミの2品で、給食にて生徒・職員全員で堪能しました。

末崎中学校では、総合的な学習の時間「産土タイム」に「わかめ養殖漁業発祥の地」とされる地域の産業を学ぶ一環として、わかめの養殖・加工・販売体験等に取り組んでおり、今回の調理体験学習はその取り組みのいわば集大成となる学習でした。

この後継者育成事業は、平成21年度から各生活衛生同業組合の協力の下、調理・理容・美容・クリーニング等の業務について、今回までで延べ43校（児童生徒約2,700名）が実施しています。

今後、実施を計画する組合や連絡協議会は、当指導センターまで連絡ください。



『生衛業経営セミナー(岩手会場)』を開催しました

10月18日(月)、ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングにおいて、新しい生活スタイルから収益力向上策を考えるととして開催。一般生衛事業者22名を含む55名が受講。

参加者アンケートでは、95.5%の方から非常によかった、よかったとの評価をいただきました。

講義科目	時間(分)	講師氏名	講師所属、職名等
新型コロナウイルス等感染症の基礎知識	50	赤沼 柳子	岩手県食品衛生監視員OB会 会員
コロナ禍でも売上好調な飲食店に見る「これからの飲食店経営とは」	60	河野 祐治	飲食店コンサルタント
コロナに向き合う生活衛生同業組合を考える	45	秋本 若夫	全国生活衛生営業指導センター 企画部長



赤沼柳子氏



河野祐治氏



秋本若夫氏



受講者の皆さん



講演終了後、河野講師と名刺交換する受講者

地域活性化連携事業『モデル事業』を開催しました

1 11月15日(月)、三陸公民館。地域の高齢者10名参加 (大船渡市社会福祉協議会協力)

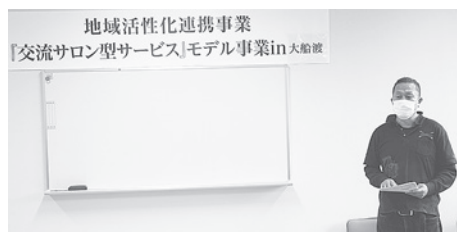
講義内容	時間(分)	講師氏名	講師所属、職名等
ハンドマッサージの仕方講座	30	柳本 敦子	岩手県美容業生活衛生同業組合 大船渡支部長ほか1
アイスパ・耳マッサージ講座	30	佐々木俊夫	岩手県理容生活衛生同業組合 気仙支部長ほか1
美味しい「料理の作り方」講座	30	千葉 武継	岩手県飲食業生活衛生同業組合 大船渡支部長



美容業組合



理容組合



飲食業組合



2 12月6日(月)、小梨市民センター。地域の高齢者16名参加 (一関市社会福祉協議会協力)

講義内容	時間(分)	講師氏名	講師所属、職名等
ハンドマッサージの仕方講座	30	菅原 利和	岩手県美容業生活衛生同業組合 大東支部
アイスパ・耳マッサージ講座	30	小野寺宏行	岩手県理容生活衛生同業組合 東磐井支部長
「本格中華料理の作り方」講座	30	菊池 幸郎	岩手県中華料理生活衛生同業組合 理事長



美容業組合



理容組合



中華料理組合



『衛生管理セミナー』を開催しました

次のとおり衛生管理セミナーを開催しました。

1 9月13日(月)、岩手県美容会館。一般生衛事業者7名 (うち1名が組合に新規加入)

講義内容	時間(分)	講師氏名	講師所属、職名等
新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインの概要等について	30	菊池 恭志	岩手県環境生活部県民くらしの安全課生活衛生担当課長
理美容店における消毒等感染症の基礎知識【ビデオ映像】	35	赤沼 柳子	岩手県食品衛生監視員OB会会員
生衛業ガイドラインチェックシート実践等の紹介	30	高橋 友行	岩手県美容業生活衛生同業組合副理事長
新型コロナ保険加入の経緯と加入状況等の紹介		瀬川 久和	岩手県理容生活衛生同業組合理事



菊池課長



赤沼柳子氏



高橋友行氏



瀬川久和氏



受講者の皆さん

2 10月11日(月)、千厩市民センター。生衛事業者57名 (うち一般16名)

講義内容	時間(分)	講師氏名	講師所属、職名等
生活衛生営業に関する衛生管理	35	箱石 義昌	岩手県一関保健所環境衛生課技師
新型コロナウイルス等感染症の基礎知識	45	赤沼 柳子	岩手県食品衛生監視員OB会 会員
新型コロナウイルス感染症特別貸付等について	10	飯島 俊介	日本政策金融公庫一関支店融資課長

※同じ会場で2回に分けて開催 (13:00～、15:00～)



箱石技師



赤沼柳子氏



飯島課長



受講者の皆さん

3 11月29日(月)、久慈グランドホテル。生衛事業者63名 (うち一般10名)

講義内容	時間(分)	講師氏名	講師所属、職名等
衛生水準の確保・向上事業等について	40	小原 仁生	岩手県生活衛生営業指導センター専務理事兼事務局長
新型コロナウイルス等感染症の基礎知識	60	赤沼 柳子	岩手県食品衛生監視員OB会 会員



指導センター専務



赤沼柳子氏



受講者の皆さん

『経営特別相談員研修会』を開催しました

11月8日(月)、ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングにおいて、経営特別相談員研修会を開催。新型コロナウイルス感染拡大が迫る中、48名の経営特別相談員が受講。

今後、各地域において生衛業の皆様への相談対応等、ご活躍いただくこととしております。

研修科目	時間(分)	講師氏名	講師所属、職名等
指導センター業務と特相員制度、生衛法と生衛組合の役割、生産性向上ガイドラインマニュアル活用について	30	小原 仁生	岩手県生活衛生営業指導センター 専務理事兼事務局長
生衛業の税務について	60	丹代 一志	昆税理士法人代表社員 所長 税理士
新型コロナウイルス等感染症の基礎知識～新型コロナウイルス感染症対策を行って収益力向上を目指しましょう～	60	赤沼 柳子	岩手県食品衛生監視員OB会会員
最低賃金制度と賃金引上げに向けた支援策等について	35	柚木 寛幸	岩手働き方改革推進支援センター
新型コロナウイルス等公庫融資について	35	小原 禎宏	日本政策金融公庫盛岡支店 国民生活事業 融資第二課長



1時限目(指導センター専務)



2時限目(丹代税理士)



3時限目(赤沼柳子氏)



4時限目(働き方改革センター)



5時限目(公庫小原課長)



受講者の皆さん

● 指導センターの主な事業(令和3年度) ●

区分	事業名	月 日	場 所	実 績
経営特別 相 談 員	経営特別相談員 養成講習	6月21日(月)	プラザおでって(盛岡)	5名養成
	経営特別相談員研修	11月8日(月)	ホテルメトロポリタン盛岡ニュー ウイング	48名受講
ク リ ー ニ ン グ	クリーニング師研修	8月29日(日)	大船渡商工会議所	14名
		9月26日(日)	二戸地区合同庁舎	13名
		11月28日(日)	サンセール盛岡	55名
		10月～1月	2型(通信制)	82名予定
	クリーニング業務 従事者講習	8月29日(日)	大船渡商工会議所	2名
		9月26日(日)	二戸地区合同庁舎	0名
		11月28日(日)	サンセール盛岡	10名
		10月～1月	2型(通信制)	39名予定
後継者 育 成	体験学習(小中学校)	11月30日(火)	大船渡市立末崎中学校(飲食業組合)	3年生23人
衛生水準 の維持・ 向上	衛生管理セミナー	9月13日(月)	岩手県美容会館(盛岡市)	7名
		10月11日(月)	千厩市民センター(一関市)	57名
		11月29日(月)	久慈グランドホテル	63名
	岩手セイエイ塾	R4年1月17日(月)	二戸パークホテル	34名予定
※地域活 性化連 携事業	モデル事業(※指導 センターは企画・総 合調整担当)	11月15日(月)	三陸公民館(大船渡市)	10名
		12月6日(月)	小梨市民センター(一関市)	16名

指導センターの応援団

(公財)岩手県生活衛生営業指導センター
の賛助会員の方々をご紹介します

岩手県酒造組合

小松総合印刷株式会社

一般社団法人岩手県食品衛生協会

株式会社いわちく

株式会社総合広告社

タカラベルモント株式会社

有限会社ジロー印刷企画

株式会社 Fair Sports Morioka A.T

アルコール消毒液の取り扱い

1年以上前に購入したアルコール消毒液が残っていませんか？

未開封のアルコール消毒液はいつまで使えるの??

「エタノール濃度が70%から90%以内の手指用に使えるもの」は**未開封の場合3年間保証**されています。

日光の当たる場所や高温になる場所を避け、湿った場所も避けて保管しましょう。

在庫品には購入年月日を書きましょう。次回購入時にはエタノール濃度を確認してから購入し、購入年月日を書きましょう。



記入

購入年月日
○年○月○日
開封年月日
○年○月○日

開封済のアルコール消毒液

開封した製剤は6か月～1年を目安に使い切りましょう。

開封してから1年を過ぎた製剤は、布に含ませて冷蔵庫等の清掃に使用できます。

大きいサイズで購入した方は開封年月日を書くことを是非お勧めします。

継ぎ足しや入れ替え

残り少なくなった容器に新しい製剤を「継ぎ足し」してはいけません。同じ製剤でも「容器に残っている製剤」のアルコール濃度が低下していますので、効果がなくなってしまいます。

異なる製剤はもちろん継ぎ足しできません。



ウェットティッシュは

アルコール入りウェットティッシュもエタノール濃度が高いものは手指用に使えます。1年以内に使い切りましょう。エタノール濃度が低いティッシュや乾燥している場合は、消毒効果がなくなっています。ウイルス対策としてではなく「汚れの付いた場所の拭き取り」などに使用しましょう。



濃度確認!

使用できない場合がある。

アルコール消毒薬を皮製品やニス塗った器具・建材に使用すると「白化」することがありますので、これらの消毒には使えません。ステンレスや陶器などに使用しましょう。

使用できない物品があります。注意書きを読み正しく使用してください。



アルコール消毒液の適正量

少ない量では十分な効果は期待できません。医療関係従事者では、「たっぷり使う」とされ、噴射タイプで3ml、ジェルタイプで2ml。目安として**15秒で乾かない程度**とされています。また、消毒液が完全に乾く前に物に触ることで効果が下がりますので注意してください。

POINT

- ・ポンプタイプは **下までしっかり押す** こと!
- ・手指消毒液が完全に乾くまで **物に触らない** こと!

